

日本林業

発行：一般社団法人 日本林業協会
〒 112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932
編集・発行人 島田 泰助

協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祝日は
繰り下げ発行となります。



目次:

(一社)日本林業協会 令和8年度定時総会を 開催	1 ~ 3
国会・業界 行事日程(1月)	4 ・ 5

(一社) 日本林業協会 令和8年度定時総会を開催

一般社団法人・日本林業協会の令和8年度定時総会を2月24日(火)午後2時から港区の航空会館7階大ホールで開催しました。

開会后、島田会長のご挨拶(別紙参照)に続き、林野庁の谷村次長からご挨拶をいただきました。小坂長官のご祝辞を代読される前に、最近の情報として、①令和8年度当初予算の年度内成立に向けた動き②令和9年度予算要求の検討に当たっては年度途中での補正予算は想定せず、必要な予算はすべて当初予算に計上する方針に転換する可能性、③トランプ政権による相互関税の先行きの不透明さについて言及されました。

その後、島田会長を議長に選任して総会議案の審議に入りました。報告事項及び議案1号~3号について順次審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

一旦総会を中断し、臨時理事会を開催して会長等の選任を行った後、再開された総会において島田会長のご挨拶を行い第13回定時総会を終了しました。

続いて、『緑の募金への協力要請』が国土緑化推進機構の織田専務から行われるとともに、『2026ミス日本みどりの大使(4代目)』の永田愛実(ながた まなみ)さんのご紹介とご挨拶があり、会員団体等の会議やイベントなどで『みどりの大使』をご活用いただきたいとのお願いがされました。



谷村次長のご祝辞



島田会長のご挨拶

＜島田会長の挨拶＞

年度末を控え、皆様それぞれにお忙しい時期にお集まりいただき感謝いたします。

本日の総会におきましては、令和7年度の当協会の活動報告、会計決算等についてご説明させていただくとともに、令和8年度の事業計画、予算についてのご報告等をさせていただきます予定です。

令和7年度の当会の事業活動につきましては、後ほど説明をさせていただきますが、概ね計画通りに実施できてきたものと考えております。

大型の補正予算に加え、昨年末に決定された史上最大の令和8年度の当初予算の概算決定並びに税制改正につきまして、会員の皆様のご支援・ご協力により要望通りの成果を上げることができました。改めて感謝申し上げます。

さて、これまでも日本の森林・林業は、世の中の変化、時代の流れの中で、何度も大きな転換期を迎えてきたところですが、私共は、今の日本の森林・林業は新たな・大きな転機にいるのではと考えています。

深刻化する温暖化問題や異常気象の下、頻発する山地災害、森林火災の問題、さらに最近とみに関心の高まっている生物多様性の問題等を背景に日本の森林・林業への国民の皆さんの期待・関心はこれまでになく高まっています。

一方、戦後造成された人工林資源が充実し利用期を迎えている中、林業経営を取り巻く環境は相変わらず厳しく、森林所有者の経営意欲が失われ伐採後放置される森林が目立ってきており、将来に向けての大きな問題となってきていることは皆さんもご承知のことと思います。

林野庁で進めている「森林の国・木の街づくり運動」などにもみられるように低炭素社会づくりに向けた木材の活用が社会の注目を集めてくる中、こうした状況を放置することはもはや許されなくなっており、森林所有者が将来に希望の持てる環境の確立が緊急の課題です。

本日ご来賓としてご出席いただいている谷村次長も我が国の代表として出席されましたが、昨年暮れブラジルで行われたCOP30において、低炭素社会に向け建築物における木材の活用を進めるとともにその木材は環境への責任という観点から合法性・持続性の確保された森林から産出された木材となるよう取り組むという提案が出され、日本を含む15か国が賛同したところです。

国民の注目・期待が森林・林業に集まる中、林業関係団体においては林野庁のご指導もいただきながら、国民の皆さんの理解と支援を求めつつ、力を合わせて持続的森林経営を可能とするための仕組みづくりを前向きに進めていく必要があると考えています。

選挙の結果、新たな衆議院での与野党の勢力図が大きく変わりましたが、引き続き与党自民党の皆さんからのご支援もいただけるよう積極的な働き掛けを行っていきたくと思っています。

また、先週20日（金）に開催された林政審議会では、新たな「森林・林業基本計画」の素案について審議がなされるとともに、3月3日（火）には自民党林政対策委員会において、基本計画に関する関係団体からのヒアリングが予定されており、これから基本計画に向けての動きも大きくなっていくと思っています。

このような動きの中、世界に誇る日本の森林を将来にわたり健全な状態で維持していくた

め、我々林業団体としてもこれまで以上に積極的な役割を果たしていく必要があると考えています。

林業協会としては、今後とも積極的な情報提供や各会員間の円滑な交流・連携に向けた働きかけ等に努めていく考えですので、引き続き皆様のご協力をお願いする次第です。

本日は、限られた時間ではございますが、熱心なご審議をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

<林野庁長官祝辞>

一般社団法人日本林業協会の定時総会の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。

貴協会の皆様方には、日頃から森林・林業・木材産業行政全般にわたり、格別の御支援、御協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、岩手県大船渡市での大規模な林野火災や、九州地方を中心とした大雨など、全国各地で災害が発生しました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。また、本年に入ってから各地で林野火災が発生しております。被災地の復旧に御尽力されている皆様に対し、深く敬意を表するとともに、林野庁としましても復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

さらに、来週3月1日から3月7日までの間、「令和8年全国山火事予防運動」を実施します。広く国民に山火事予防意識の啓発を図り、予防対策を強化してまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いします。

さて、我が国の森林資源は本格的な利用期を迎える中、この資源を次世代へ着実につないでいくため「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確立し、2050年ネット・ゼロの実現と地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献していくことが重要です。特に、木材の利用は、森林が吸収した二酸化炭素を長期間貯蔵できることから、2050年ネット・ゼロの実現に向けた重要な柱として、産業界・経済界においても期待や関心が高まっております。

林野庁としましては、このような機運を捉え、「森の国・木の街づくり宣言」の取組を通じた建築物の木造化などによる木材利用の促進をはじめ、間伐や再生林、路網整備の推進、木材加工流通施設の整備、多様な担い手の育成・確保など総合的な取組を進めてまいります。

また、本年は我が国の森林・林業・木材産業施策の基本的な方向を定める「森林・林業基本計画」を変更する5年に一度の重要な年です。この基本計画が森林・林業・木材産業の全ての関係者の将来の指針となり、未来に希望を持っていただける計画となるよう、皆様方からの意見も頂戴しながら検討を進めてまいります。引き続きの御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

令和8年2月24日

林野庁長官 小坂 善太郎
(代読 林野庁次長 谷村 栄二)

令和 8年 2月 国会の動き

《国会関連》

- 20日（金）衆・本会議
政府4演説
- 20日（金）参・本会議
政府4演説
- 24日（火）衆・本会議
国務大臣の演説に対する代表質問
- 25日（水）衆・本会議
国務大臣の演説に対する代表質問
- 25日（水）参・本会議
国務大臣の演説に対する代表質問
- 26日（木）参・本会議
国務大臣の演説に対する代表質問
- 27日（金）衆・予算委
令和7年度総予算 基本的質疑

令和 8年 2月 業界の動き

【1月】

- 14日（水）大阪府木材連合会
2025年大阪・関西万博のシンボルマーク「大屋根リング」の長期保存技術を日本国際博覧会協会に提案
- 20日（火）日本政府
国土防災技術（株）が「第9回インフラメンテナンス大賞」を受賞（1/20首相官邸で表彰式）
- 22日（木）鉄建建設（株）
農林水産省・環境省と「建築物木材利用促進協定」を締結
- 26日（月）第58回「ミス日本コンテスト2026」
第4代「緑の大使」に日大2年生の永田愛美（ながた・まなみ）さん
- 26日（月）奈良県
2027年春の「全国植樹祭」の大会シンボルマーク及びポスターを公表
- 27日（火）日本木材地中活用推進協会
「第2回木材地中利用シンポジウム」を開催
- 29日（木）関東森林管理局
放射能汚染被害を受けた福島県の「帰還困難区域」の森林整備再開に向けた実証事業・成果報告会を開催
- 29日（木）広島県
「早生樹コウヨウザンWEBシンポジウム」を開催

【2月】

- 2日（月）『森林業漫画家』平田美沙子さん
林野庁を退職し作家として独立
- 3日（火）林野庁・日本森林技術協会
「森ハブシンポジウム～地域ぐるみで実現する林業の未来～」を開催
- 3日（火）日本森林林業振興会
「設立80周年記念講演会」を開催
- 4日（水）林業機械化協会
令和7年度「スマート林業機械・木質系新素材シンポジウム」を開催
- 4日（水）宮崎県諸塚村及び飛驒産業（株）
森林認証製品の開発や人材育成など

令和 8年 2月 業界の動き

- に取り組む『包括連携協定』を締結
- 5日（木）長野県
全国初となる「架線集材全国サミット」を開催
- 6日（金）香川県
初の「かがわヒノキ」建築コンクール・表彰式を開催
- 9日（月）神奈川県森林組合連合会及び県信用農業協同組合連合会
全国森林組合連合会及び農林中央金庫との間で『森林由来J-クレジットの利用促進に向けた連携協定』を締結
- 12日（木）（株）セブーンイレブン・ジャパン
栃木県産材使用の木造店舗『セブーンイレブン宇都宮新町1丁目店』をオープン
- 12日（木）・13日（金）東京都
第10回『WOODコレクション（モクコレ）2026』を開催
- 16日（金）住友林業（株）
2025年12月期決算説明会を実施
- 17日（土）NPO法人才の木
トークカフェ「木につく菌・虫につく菌」を開催
- 20日（金）林野庁
新しい『森林・林業基本基本計画』の目標数値などを林政審議会に提示
- 21日（土）・23（日）木育・森育楽会実行委員会
及びNPO法人木育・木づかいネット
第11回『木育・森育音楽会in八代』及び『木育・森育楽会for School』を開催
- 25日（水）林野庁
『山村と企業をつなぐフォーラム』を開催
- 26日（木）木材表示推進協議会
セミナー『木材・木材製品の合法性・品質確保と表示の取組』を開催
- 27日（金）三菱UFJリサーチ&コンサルティング
『二国間クレジット制度を利用した途

上国における森林保全・植林プロジェクトの新規案件形成に向けた現地調査』成果報告会を開催